

製品名: MYL9 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21155**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:20kD;Observed MW:20kD

抗原情報

遺伝子名	MYL9
別名	MYL9;MLC2;MRLC1;MYRL2;Myosin regulatory light polypeptide 9;20 kDa myosin light chain;LC20;MLC-2C;Myosin RLC;Myosin regulatory light chain 2;smooth muscle isoform;Myosin regulatory light chain 9;Myosin regulatory light chain MRL
遺伝子 ID	10398.0
SwissProt ID	P24844
免疫原	ヒト MYL9 の合成ペプチド

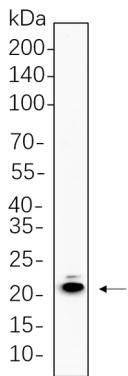
背景

細胞局在: 細胞質。筋肉の構成成分であるミオシンは、2本の重鎖と4本の軽鎖から構成されています。この遺伝子によってコードされるタンパク質はミオシン軽鎖であり、ミオシン頭部のATPase活性を調節することで筋収縮を制御すると考えられています。コードされているタンパク質はカルシウムと結合し、ミオシン軽鎖キナーゼによって活性化されます。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする2つの転写バリエーションが見つっています。[RefSeq 提供、2008年7月]

研究分野

-

画像データ



Hela 細胞ライセートを 4~20% SDS-PAGE で分離し、膜を MYL9 ウサギモノクローナル抗体 (1:1000) でブロットニングした。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG(H + L)抗体を用いた。